

一 般 質 問

令和7年第4回（12月）定例会

通告順	議席番号	議 員 名	ページ
1	1 9 番	渡 邊 光 子	2
2	1 4 番	山 中 敏 正	4
3	6 番	岩 崎 隆 志	6
4	1 0 番	細 谷 文 人	7
5	1 番	仲 又 清 美	8
6	2 番	渡 邊 広 美	10
7	4 番	砂 川 和 也	11
8	7 番	榊 萌 美	13
9	1 3 番	浦 田 充	15
1 0	9 番	近 本 あんな	17
1 1	8 番	須 山 陽一朗	18
1 2	5 番	北 村 あやこ	21
1 3	3 番	渡 辺 ま や	22
1 4	1 1 番	糸 井 政 樹	23

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は
1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

19番 渡邊 光子

1. 各税金の支払い方法について

私は納付の用紙が届くと、早々に年度分を一括して納付していましたが、初めて都市計画税について納付の督促状が来ました。納付したつもりだったので領収書を探したがありません。納付を忘れていたようです。そこで伺います。

- (1) 再度の納付忘れが無いよう一括の口座引き落とし方法を伺います。
- (2) 埼玉県内で一括納付を行っている自治体はどのくらいありますか。
- (3) 桶川市が一括納付を行うことのメリット、デメリットを伺います。

2. 入学準備金貸付について

- (1) 貸付と返済状況を伺います。(資料請求)

3. 西口の街路樹の整備等について

桶川駅西口をブリヂストン通りを越えたところでイチョウの木の枝を切っていました。この時期に枝を切ると葉が落ちる前です。なるほど利にかなっているなと私は思い感心しました。今、枝を切ることで落ち葉も少なく、来春になり枝が伸びます。桶川市の枝切はと言うと枝が伸び秋になり葉が落ちる。この落ち葉でひと手間がかかる。そこで伺います。

- (1) ハナミズキやサルスベリ等の高木は、葉が落ちる前に枝切することを希望します。
- (2) 上尾市の高木の下除草について、機械を使い立ったままで除草をし、その脇で除草を積む車が一緒でした。桶川市も見習うことを伺います。
- (3) 西口駅前のマイン側、フェンス沿いの低木は全く少ない現状です。春になると草だらけです。低木は伐根してアスファルト舗装にして、フェンスの改修を伺います。
- (4) 駅西口前の小高い場所は、草が1メートルぐらいに伸びていた。以前は芝の中にねじねじ草があり、当時この、ねじねじ草の保存を一般質問したことがありました。その後、花植えのボランティアの要望ででしょうか、芝が抜き取られ花が植えられていましたが、昨今では草ぼうぼうでした。このような場所の花植えは土が露出して風が吹くとはこりが舞います。桶川市の玄関口です。花植えのボランティア等の希望者に対して、ありがたいことではあるが、よくよく考えて許可する

べきです。この一山を残して改修する方針ならば、ぼうぼうにならない芝を植えることを伺います。

4. 駅西口からマインへの階段のスロープ化について

私は両ひざの人工関節手術をする前は、この階段を利用するには膝が痛く利用できませんでした。手術後も手すりにつかまり一段一段と足を運び上下する現実です。このような状況から過去にスロープ化を一般質問しました。マインの協力がないと実現は不可能の様子。早急のスロープ化は必要です。現場をつくづく見ますと、駅西口通路のマイン側の階段手前で歩道の上部を通り、マイン側の階段を下りた広場の南側につなぐことでマインに負担が少ない方法でスロープ化ができると考え、伺います。

5. 泉2丁目のJR公園について

JR公園の管理について伺います。

公園中央の小高いところの直径約50センチの高木が切られていました。切った理由を伺います。

1 4 番 山中 敏正

1. 市内小・中学校の水泳授業について

(1) 現状と課題について

- ① 本市における水泳授業の目的について、伺います。
- ② 学校プールの指導基準と授業の現状について、伺います。
- ③ プール施設の現状と課題について、伺います。

(2) 中学校の民間委託による水泳授業について

- ① 民間委託した背景について、伺います。
- ② 成果と課題について、伺います。
- ③ 委託前と委託後のコスト比較について、伺います。（資料にて説明願います）

(3) 小学校における水泳授業について（資料にて説明願います）

- ① 暑さ対策と、暑さによる授業への影響について、伺います。
- ② プール更新に係る総費用（耐用年数で比較）について、伺います。
- ③ 民間委託した場合の総費用について、伺います。
- ④ プール更新に係る費用と民間委託した際のコスト比較について、伺います。

2. 学校におけるフッ化物洗口について

(1) 本市におけるフッ化物洗口への取組について

- ① 開始時期と継続期間の考えについて、伺います。
- ② 歯科医療受診の推移について、伺います。（昨年度との比較を資料にて説明願います）
- ③ フッ化物洗口の効果について、伺います。（昨年度との比較を資料にて説明願います）

(2) 具体的な進め方について

- ① 事業の計画・推進について、伺います。
- ② 保護者への説明と実施の決定について、伺います。
- ③ 実施体制の整備について、伺います。

(3) 本市におけるフッ化物洗口の現状について

- ① 実施にあたっての課題や問題点について、伺います。
- ② 実施に向けた今後の方向性について、伺います。

3. 江川水域の水害対策について

(1) 荒川左岸ブロック河川整備計画について

- ① 策定の背景について、伺います。
- ② 計画変更の経緯について、伺います。
- ③ 江川における整備方針の変更内容について、伺います。

(2) 河川整備計画の変更について

- ① 今後のスケジュールについて、伺います。
- ② 中上流部における調節池との関連性と、現在の進捗状況について、伺います。

(3) 樋管改築と排水機場の整備について

- ① 水理解析の結果が本計画にどのように反映されたのか、伺います。
- ② 整備に向けた国と県の協議について、伺います。
- ③ 宮下樋管の改築について、伺います。
- ④ 新排水機場の設置について、伺います。

6 番 岩崎 隆志

1. 「生涯安心」の設計図、人生100年時代、市民が最優先する保健医療・福祉体制の未来

- (1) 高齢化率3割の時代、市民が最優先する「医療・福祉施設」の具体的拡充計画を伺う。
- (2) デジタル化が進む一方で、福祉等の分野におけるデジタル格差への懸念に対し、どのように対応し利便性を高めるか伺う。
- (3) 社会保障費の財源の持続可能性をどう確保するか伺う。

2. 学びが未来を創る、桶川市が仕掛ける「定住と成長」につながる教育戦略

- (1) 本市における人口動態として、社会動態と自然動態の推移と見通しについて伺う。
- (2) 子育て世代を視野に入れた、人口減少の抑止策について伺う。
- (3) 人口減少の抑止やポスト・コロナ時代におけるデジタル社会への対応のため、教育の「質」をどのように高めていくのか伺う。

3. 「災害時避難69%不安」を解消、市民の生命と財産を守る強靱な地域防災の最前線

- (1) コロナ禍で顕在化した「災害時における避難の不安」（69.0%）に対し、どのような対策を講じるか伺う。
- (2) 「自助、共助、公助」の総合的な体制構築に向け、市民の協働をどのように促進するか伺う。
- (3) 広域交通網の要衝という地の利を活かし、インフラ強靱化と迅速な復旧力をどう高めるか伺う。

10番 細谷 文人

1. 外国人との共生について

- (1) 本市の外国人住民の国籍別人数の過去5年間の推移
- (2) 市内で外国人を雇用している事業所数、その雇用人数の過去5年間の推移
- (3) 本市の小中学校における、外国人児童生徒数の過去5年間の推移
- (4) 外国人住民・外国人労働者・外国人児童生徒をめぐる、外国人との共生を図る上での本市の課題
- (5) 外国人住民・外国人労働者・外国人児童生徒に関する、外国人との共生を図る上での本市の取組

2. 道の駅「べに花の郷おけがわ」について

- (1) 今年度の売上目標（飲食・物販別）・来場者数の目標
- (2) オープンから9月末までの上半期の売上（飲食・物販別）・市内市外別の来場者数とその利用交通手段別の内訳
- (3) 運営上の課題とそれに対する取組

3. 「道路等損傷通報システム」について

- (1) 当システム・電話・窓口・メールごとの2022年以降の通報件数の推移
- (2) 当システム・電話・窓口・メールごとの2022年以降の補修実績の推移
- (3) 当システムの予算（構築費用と運用費用）
- (4) 当システムの周知方法

1 番 仲又 清美

1. 市民に寄り添った補助金、及び、助成金の見直しと方向性について

(1) 桶川市コミュニティ推進事業補助金の使途について

- ① ごみ集積所に設置する「ごみボックス」の補助の実績について伺う。（※現在までの実績がわかる資料希望）
- ② 「ごみボックス」の申請基準について伺う。
- ③ 「ごみボックス」は、既製品でないと補助できない理由について伺う。
- ④ 市民が自ら製作した「ごみボックス」への補助ができるよう見直しができないか伺う。

(2) 桶川市がん患者アピアランスケア用品購入費助成金について

- ① アピアランスケア用品購入の助成について（※現在までの実績がわかる資料希望）
- ② 先進事例を紹介し、先の議会でも提案しましたが、県の補助金が入ったことで、がん患者のみではなく、その他の疾病で外見に変化がある市民に対しても助成できないか伺う。

2. HPVワクチン予防接種について

(1) 未接種者の個別通知方法について

- ① 本年、9月に初回接種を行わないと年度内に公費助成が受けられない、特に最終年齢の16歳（高校1年生）の未接種者を対象に、本市は、7月末、夏休み中に個別通知を送っていただいた。改めて、年度当初の接種状況から個別通知発送後の接種状況について伺う。（※年度当初から現在までの接種状況がわかる資料希望）
- ② 今後の本市の未接種者への個別通知の在り方について伺う。

(2) HPVワクチンの男性への接種費用助成について

- ① 県内の自治体の助成状況について伺う。
- ② 先の議会で本市の方向性を伺い要望した。改めて、検討しているか伺う。

3. 「5歳児健診」の導入について

(1) 令和10年度までに国が目指す「5歳児健診」について

- ① 先の議会では、医師等の確保や体制の構築等、課題が多くあるとの答弁だった。県内では、令和5年度の国の補正予算措置を受け、

今年度から、導入する自治体が増えている。改めて、本市の見解を伺う。

- ② 国が令和10年度までを目標としている方向性について、改めて、本市の見解を伺う。

4. 「終活情報登録事業」について

(1) 「終活情報登録事業」の導入について

- ① 先の議会で、「終活情報登録事業」が、本市が県内初となると期待し、導入に向けての可能性を質問し、事業の導入を要望したが、先んじて加須市が事業を開始した。県内の先進事例について、情報収集されているか伺う。
- ② 総務常任委員会における司法書士会上尾支部の先生方との意見交換会で、「終活情報登録事業」について議会で提案したことをご案内したところ、賛同いただいた。想定される少子高齢化社会において、未婚率の増加、人間関係の希薄さなどの課題から、人生の最後が孤独にならないように、改めて、必要な支援ととらえ、早期に実現できないか伺う。

2 番 渡邊 広美

1. 誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

(1) 特殊詐欺対策について

- ① 桶川市における特殊詐欺の現況について伺います。
- ② 国際電話、メールからの特殊詐欺対策について伺います。
- ③ 特殊詐欺対策機器の購入費助成や貸出支援について伺います。

(2) 安全な治安の確保について

- ① 刑法犯認知件数と現況について伺います。
- ② 犯罪を抑止する取組について伺います。
- ③ 防犯カメラの今後の設置計画について伺います。
- ④ 防犯カメラ付自販機の設置の方向性について伺います。

2. 高齢者の難聴予防・対策について

(1) 高齢者の難聴支援について

- ① 高齢者の難聴検査の方向性について伺います。
- ② ヒアリングフレイルの講演会の開催について伺います。
- ③ 補聴器の購入費助成について伺います。

3. 職員の業務効率化について

(1) 窓口業務の効率化について

- ① よくある質問などチャット、A I 応答のオンライン窓口の導入について伺います。
- ② 今後、窓口業務の効率化に向けた施策について伺います。

(2) 選挙業務の現況と効率化について

- ① 選挙事務に従事する配置人数について、正規職員、臨時職員、委託など現況について伺います。
- ② 選挙事務の効率化や経費縮減の観点から、今後の取組について伺います。
- ③ 電子投票の導入の方向性について伺います。

(3) 介護認定事務の現況とD X化の方向性について

- ① 介護認定に至るまでの流れ、認定に要する期間、調査員数、審査会の現況と課題について伺います。
- ② 改善すべき点について伺います。
- ③ 業務効率を図るためのD X化の必要性について伺います。

4 番 砂川 和也

1. 道の駅の利用実績と地域活性化への貢献について

(1) 道の駅の運営実績について

- ① 開業以来の来場者数の推移と観光客・地元住民の割合について市の分析や傾向を伺います。
- ② 地元産品の販売実績や人気商品の傾向から地域産業との連携強化策をどのように進めているか伺います。
- ③ 運営体制や収支の現状、物価高騰が運営に与える影響の有無について伺います。

(2) 道の駅各施設エリアの利用状況について

- ① イベントエリアの利用状況、イベント開催の実績、利用団体について伺います。
- ② 各駐車場の利用状況と特徴、E V 充電設備の利用状況について伺います。
- ③ 防災設備の整備状況、利用実績、地域住民の認知度について伺います。
- ④ トイレや休憩所、情報提供施設、観光案内所としての利用状況について伺います。
- ⑤ 休憩施設不足解消に向けた社会実験の経過と E T C 2. 0 の利用状況について伺います。

(3) 今後の活用と連携方針について

- ① 市として各施設を地域資源としてどのように活用し、地域との連携を深めていくのか伺います。
- ② 防災設備を災害時の拠点として位置づけ、地域訓練と連携することについて市の考えを伺います。
- ③ 他自治体における新たな道の駅整備との連携や地域・文化を越えた協力について市の考えを伺います。

2. マイナンバーカードを活用した利便性向上に向けて

(1) 制度運用の現状と課題について

- ① 税の申告、健康保険証、運転免許証との連携による利便性向上について、市民の利用、問合せ状況と課題認識を伺います。
- ② 高齢者やデジタル機器に不慣れな方への支援策として、市役所や出張所での相談や問合せ、サポート体制の強化はどう進めています

か。

- ③ 医療機関や行政窓口での対応格差やセキュリティ等への不安に対して、市としてどのような対策を講じていますか。

(2) 今後の利便性向上策について

- ① オンライン更新や期限通知など、利便性向上に向けたデジタル施策の導入状況と今後の方針を伺います。
- ② 市民への制度周知や利用促進のための広報・啓発活動はどのように展開していきますか。

(3) 利便性向上に向けたマイナンバーカードの可能性について

- ① 空き領域を利用したカードアプリケーションの可能性と活用の考えを伺います。
- ② 市民サービスの充実にに向けた I C チップの活用事例について伺います。
- ③ 導入に向けた費用と費用対効果についてどのように考えていますか。

7 番 榑 萌美

1. 持続可能な財政運営の推進について

(1) 持続可能な財政運営に向けた取組について

- ① 将来負担比率、実質公債費比率、経常収支比率、財政力指数の過去5年間程度の推移と、その要因分析について伺います。
- ② 今年度実施している持続可能な財政運営に向けた取組について伺います。
- ③ 限られた財源を効果的に活用するために事業などをどのように評価されているか伺います。

(2) 財政調整基金について

- ① 本市の財政調整基金の10年間の残高推移の実績と評価について伺います。
- ② 県内市と比較して、標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合について見解を伺います。
- ③ 全国的に基金が枯渇している自治体が見受けられるが、本市としての見解を伺います。

(3) 事例研究及び意識付けについて

- ① 他自治体の持続可能な財政運営に対する取組事例の研究が行われているか伺います。
- ② 庁内職員への持続可能な財政運営の意識付けをどのようにされているか伺います。
- ③ 市民への財政状況の周知をどのようにされているか伺います。

2. ふるさと納税の現状と今後の方向性について

(1) 本市におけるふるさと納税の状況について

- ① 受入額・件数、返礼品提供事業者数、経費率の3年間の推移について伺います。
- ② 県内および近隣自治体（上尾市、北本市、鴻巣市、伊奈町など同一生活圏の市町）との比較を行った場合に、本市の位置付け・強み・課題はどう整理できるのか伺います。
- ③ 人口規模や産業構造が近い自治体と比べて寄附受入額が伸びていない要因があるのか伺います。

(2) 地域経済への波及効果について

- ① 返礼品の発注等によって市内にどの程度の経済効果が生じている

と把握しているのか伺います。

② ふるさと納税をきっかけに、市内事業者の販路拡大・商品開発・ブランディングを支援する取組を行っているか伺います。

③ 埼玉県庁がふるさと納税において返礼品の提供を開始しましたが、本市返礼品の提供は行っているのか伺います。

(3) ふるさと納税業務の委託体制について

① 現在の委託体制による直近年度における業務実績の自己評価を伺います。

② 中間事業者によって支援内容が異なりますが、他事業者との比較・検討をしたことがあるか伺います。

3. 職員の人材育成について

(1) 人材育成基本方針について

① 平成29年度改定後から今までの取組内容について伺います。

② 成果と課題について伺います。

③ 今後の見直しのスケジュールについて伺います。

④ 職員の意見を取り入れるための方法について伺います。

(2) 人事評価制度について

① 人事評価制度の目的と、評価項目・評価ランクの構成について伺います。

② 評価の流れ、評価結果説明、相談機会の確保について伺います。

③ 評価者研修・面談スキル研修の実施体制、状況について伺います。

④ 職員の育成に向けた課題について伺います。

1 3 番 浦田 充

1. ユニバーサルデザインについて

(1) 福祉避難所の拡充について

- ① 桶川市の避難行動要支援者の人数を伺う。
- ② 福祉避難所及び災害時等における要配慮者の緊急受入れに関する協定を締結している施設一覧とそれぞれの受け入れ可能人数、対象者を伺う。(資料配付)
- ③ 災害時等における要配慮者の緊急受入れに関する協定書の内容を伺う。(資料配付)
- ④ 協定を締結している施設への避難の流れを伺う。
- ⑤ 近隣の特別支援学校と協定を締結できないか伺う。
- ⑥ 小規模福祉施設と協定を締結できないか伺う。

(2) 市内のバリアフリー状況について

- ① 貸出車椅子や多目的トイレ設置の店舗、車椅子で入店可能な飲食店を調査できないか伺う。
- ② 埼玉県GISにはないバリアフリー情報も含めて集約し、市独自のバリアフリーマップを作成すべきではないか。
- ③ インターネットが使えない場合、どのようにバリアフリー情報を取得できるのか伺う。

(3) 駅西口デッキについて

- ① エレベーターや屋根の設置などバリアフリー化までに、どのような段階を踏み、それぞれの期間はどの程度か、また現在どの段階なのか伺う。
- ② 現在のデッキへのエレベーター設置の可否について、いつ調査するのか伺う。

2. 障害者就労支援について

(1) 桶川市の役割について

- ① ハローワークと埼玉県で設置している障害者就業・生活支援センターと桶川市障害者就労支援センターのそれぞれの役割や違い、連携について伺う。(資料配付)
- ② 桶川市障害者就労支援センターの役割について伺う。
ア. 桶川市障害者生活支援センターとのすみ分けがどのようになっているのか伺う。

イ．就職等について特別支援学校とどのような連携を取っているのか伺う。

ウ．市内の障害者雇用を行っている事業者とどのような連携を取っているのか伺う。

9 番 近本 あんな

1. 選択的共同親権からみる子どもの権利

- (1) 法施行が2026年4月1日と迫っている。選択的共同親権が必要な理由はなにか。
- (2) 親権者変更の申し立てを「子」も出来るようになる。現行法と比べて、子どもにどんなメリットがあるのか。(改正法819条の第6項)
- (3) 国は、子の養育計画の策定を推奨している。養育計画策定のため、市が実施する支援策はなにか。

2. 保健センターと教育委員会が連携した、5歳児健診の実施に向けて

- (1) 国は、2028年までに実施率100%を目指している。実施に向けて、本市の現状を伺う。

3. 道路交通法の改正で、私たちの自転車ライフはどう変わるのか

- (1) 「歩道を走ったら罰金」との報道がある。警察庁が発表している「取り締まりの考え方」を伺う。

8 番 須山 陽一朗

1. 妊婦支援と栄養面からの母子健康増進について

(1) 出生体重の推移について

- ① 本市の新生児における出生体重の推移について、伺います。
 - ア. 直近の出生数と、2,500g未満の低出生体重児の割合はどのような傾向か。
 - イ. 全国平均や埼玉県平均と比べてどのような状況か。

(2) 低出生体重児に関する健康リスクの認識について

- ① 低出生体重児が増えることによる健康リスクについて、市の認識を伺います。
 - ア. 発達障害や生活習慣病との相関について市はどのように理解しているか。
 - イ. 低出生体重児の増加が将来的に医療費や福祉費用の増大につながる可能性について、市はどう認識しているか。
 - ウ. 本市の健康づくり推進計画や埼玉県母子保健計画において、妊娠期の食生活改善や栄養支援はどのように位置づけられているか。

(3) 妊婦支援の現状について

- ① 本市における妊婦さんへの支援事業の現状について、伺います。
 - ア. 妊婦給付金、伴走型相談支援、令和7年度からの移動支援・多胎健診助成など、現在実施している事業の内容と実績はどうか。
 - イ. これらの施策の効果や課題を市としてどのように認識しているか。

2. 学校給食の「質の確保」と無償化議論における持続可能な負担のあり方について

(1) 国の制度設計と市の財政負担について

- ① 国の方針が「完全無償化」から「実質無償化」へと変化する中で、この方針変更が自治体の自主財源に過度な依存を求めるものとなっていないか、市の認識を伺います。
- ② 国の方針によって、将来的に市の財政負担がさらに増える可能性について、市はどう認識しているか伺います。
- ③ 全国平均の給食費（月額約4,700円）と比較した場合、本市の給食費との差について伺います。

- ④ 学校給食（食材料費）に対する公費負担について、市がどの財源を用いて、いつから、どの程度負担してきたのか、伺います。
- (2) 物価高騰による影響と今後の見込みについて
 - ① 来年度以降の食材費の上昇について、国が示す物価上昇率等の指標を基に、市としてどのように試算しているか伺います。
 - ② その試算を踏まえ、現在の給食の質や量を維持するためには、給食費全体として、どの程度の財源不足（または増額）が生じると見込んでいるか伺います。
- (3) 学校給食の目的と負担の意味について
 - ① 学校給食の目的（食育・健康など）について、市はどう位置づけているか伺います。
 - ② 市が既に公費負担していることによる「給食の質」の維持や、食育への効果について伺います。
 - ③ 国の財源措置が不透明な中で、学校給食制度を将来にわたり持続させていくための、市の基本的な考え方を伺います。

3. 複合的な駅前ムクドリ対策の必要性について

- (1) 現行対策の実施状況について
 - ① 今年度の職員による超音波機器を用いた追い払い作業について、伺います。
 - ア. 実施回数、延べ時間、参加職員数の実績はどうか。
 - イ. 今年度にかかった費用（人件費・機器維持費）はどの程度か。
 - ウ. 苦情件数の推移（年度別・月別）と主な内容はどうか。
 - エ. 効果検証はどのように行っているか。
- (2) 他自治体の事例調査について
 - ① 桶川市として他自治体のムクドリ対策事例について調査・検討を行っているか、伺います。
 - ア. 猛禽類による追い払い、街路樹剪定・ネット掛け、音や光による威嚇などの事例を把握しているか。
 - イ. 桶川市として導入可能性を検討した手法はあるか。
- (3) 来年度の方角性について
 - ① 現行の超音波機器依存から複合的対策への転換について、伺います。
 - ア. 来年度に向けて新たな手法の導入を検討しているか。
 - イ. 試行的導入を行う意思はあるか。
 - ウ. 補正予算や緊急対応の可能性をどう考えているか。

(4) 市民対応・情報公開について

① 市民への説明責任について、伺います。

ア．市民からの苦情に対して、どのような対応・説明を行っているか。

イ．市民への周知・情報提供はどのように行っているか。

5 番 北村 あやこ

1. 飛行学校平和祈念館の支払いは適切だったか

(1) これまでの経緯

今年度どれだけの取組を行ったか、施工業者、工事監理者の協力内容と協議の記録を資料にて配付し、説明を求める。

(2) 現場の実測と設計図の相違

これまでの実測と設計の違い、竣工図の修正について、その原因を含めた一覧表を提出いただき、遅れている原因と説明を求める。

(3) 工事の記録について

復原工事の記録を自前で作るようになっていたが、作成した資料の提出を求める。

2. 来年度予算編成について

(1) 方針と見通し

① 予算編成の進捗状況と方針はどのようなになっているか。

② 無駄な事業の廃止は検討されたか。

(2) 自動販売機の入札を

① なぜ、入札にできないのか、地方自治法にのっとった説明を求める。

3. いじめ対策の強化と開かれた教育委員会に

(1) 東中いじめセクハラ判決について

① 教育長の感想と今後の姿勢

② 被害生徒のフォロー

③ 加害者の謝罪の取組は

④ 組織体制強化の検討状況

(2) 開かれた教育委員会への転換を

① 以前質問したホームページについて、何がどう変わったのか。

3 番 渡辺 まや

1. フッ化物洗口の安全性と今後の実施予定

(1) フッ素について

- ① フッ素の安全性に対する市の認識を伺います。
- ② フッ素の安全性に対する世界の評価を伺います。
- ③ フッ素が環境へ与える影響をどのように認識しているか伺います。
- ④ フッ素が人体へ与える影響をどのように認識しているか伺います。

(2) フッ化物洗口事業について

- ① 本市で事業を開始した理由と目的を伺います。
- ② 開始後からの実績（各学年の洗口者数と割合）を資料でお示しく
ださい。
- ③ 学校でフッ化物洗口を実施するまでの手順を伺います。
- ④ 今後の実施を予定している学校と時期を伺います。

2. 物価高騰対策について

(1) これまでの物価高騰対策の効果と評価

- ① 2023年度以降の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業の実施状況を伺います。（資料でお示してください）
- ② 対象となる市民の選定基準をどのように設定しているのか伺います。
- ③ 低所得者や子育て世帯、多子世帯への支援が、所得や世帯規模に基づき公平に分配される仕組みについて具体的な事例を伺います。

(2) 現在の状況

- ① 現在の本市及び市民の皆様への物価高騰情勢の影響をどのように捉えているか伺います。
- ② 物価高騰情勢の影響でニーズが増えていると考えられる本市の事業名一覧をお示ください。

(3) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充について

- ① 政府で検討されている物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充について、現段階での進捗を伺います。
- ② 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用に関して、本市の課題を伺います。
- ③ デジタルツール導入による効率化で支援到達率を向上させる方針について市の見解を伺います。

1 1 番 糸井 政樹

1. 桶川市の教育について

「生きる力を育み未来へはばたく桶川の教育」を基本理念とした本市の教育はＩＣＴ教育の充実などにより進歩を遂げてきた。しかしその一方では全国で様々な問題・課題が発生しています。２０２４年度の調査では全国の小中学校の不登校児童生徒は過去最多の約３５万３，９７０人となっている。そこで何点か教育について質問をします。

- (１) 当市の小中学校における不登校児童生徒の現状はどのようになっていますか。
- (２) ここ数年の不登校の現状について教育長の所感をお伺いいたします。
- (３) 多様な学びの一つとされているフリースクールを、どう捉えていますか。
- (４) スマートフォン、タブレット、ＰＣゲームなどの依存が以前より問題となっていますが見解をお伺いいたします。
- (５) チャットＧＰＴなど対話型ＡＩへの依存などは、脳活動の低下や社会的孤立が危惧されるとの研究結果が出ていますが、教育委員会としてどう向き合うべきと考えますか。

2. 市庁舎の安全について

本年５月にお隣で関係も深い白岡市庁舎で火災が発生しました。原因は一階の床コンセントへのプラグ差し込み不良による可能性が高いとされていますが、１２月１５日によりやく仮設本庁舎がオープンされるとお聞きしています。白岡市さんには心からのお見舞と、早期の復旧をお祈りいたします。そこで何点か伺います。

- (１) 本市の本庁舎並びに公共施設の電気設備の点検は、どのようなスパンでどのように行われていますか。
- (２) 電子媒体のデータと紙媒体の資料の割合は現在どうなっていますか。
- (３) データのバックアップはどのようになっていますか。
- (４) 公共施設内でのモバイルバッテリーの扱いはどうされていますか。

3. 桶川市のシビックプライドについて

シビックプライドとは「市民の誇り」を意味し、自分が住む桶川市に対して抱く、誇りや愛着であるとされています。地元愛との違いは、「自分が関わって地域をよくしていこう」という能動的な意識だと考えています。

- (1) 市長にお聞きします。シビックプライドの醸成について、どのようにお考えでしょうか。
- (2) シビックプライドの醸成が高まれば、どのような効果が表れると考えますか。
- (3) シビックプライドの醸成には、どんな活動や事業を行えば良いと考えますか。
- (4) 当市は平和都市宣言・環境自治体宣言・人権尊重都市宣言・男女共同参画都市宣言・桶川市ゼロカーボンシティ宣言・スポーツ都市宣言などを宣言していますが、どの宣言が一番重要ですか。また優先順位はあるのでしょうか。

4. 当市の大阪万博を受けての将来について

- (1) 市長は大阪万博に参加されましたか。
- (2) 鴻巣市はコウノトリと川幅日本一を主題材にSDGsフェスへ出展をされましたが、当市は万博と何か絡みはありましたか。
- (3) 今回の万博は桶川市にとって、どのようなものでしたか。